

緑膿菌か6人死亡

06.6.23 朝日(朝)

埼玉医大、院内感染調査へ

埼玉県毛呂山町の埼玉医科大病院で、04年1月から2年間に、抗生物質が効きにくい多剤耐性緑膿菌に感染した入院患者6人が死亡していたことが、22日わかった。同病院によると、入院患者約100人からこの菌が検出され、発熱などの症状

が出たのが死亡者を含め11人だった。同病院は院内感染の可能性も含め詳しく調べる。厚生労働省も同日、病院に対し事実

を調査して報告するよう指示を出した。同病院感染科・感染制御科の前崎繁文教授によると、死亡した6人は

高齢の男女で、がんなど重い病気で入院していた。病室や発症時期は異なっていた。6人の死因がもとの病気なのか、こ

多剤耐性緑膿菌 抗生物質などの薬が効かない耐性菌の一種。高齢や病弱などで免疫機能が落ちている人が感染する。肺炎や敗血

血症などになることがある。感染すると治療は難しく、院内感染の原因の一つとして社会問題となり、対策が急がれている。

の菌の感染なのかの特定を進めているという。同病院では、定期的に入院患者から便などを採取し、感染症の有無を調べていた。その結果、04

年1月から05年12月までの間で、約100人の入院患者から多剤耐性緑膿菌が検出された。11人以上は症状はなかったという。同病院は、職者による

調査委員会を設け、感染経路について調べる。

抗生物質効かない多剤耐性菌

院内感染？6人死亡

埼玉医大病院

埼玉医科大学病院(埼玉県毛呂山町)で、入院患者約百人から抗生物質が効かない「多剤耐性緑膿菌(MDRP)」が検出され、うち六人が死亡

していたことが二十一日、分かった。厚生労働省は院内感染の可能性もあるとみて調査を始めた。

同病院によると、二〇〇四―〇五年の二年間に二人が肺炎や敗血症などを発症し、六人が死亡したという。死亡した患者の入院時

期や病棟はバラバラとい、同病院は一院内感染かどうかは不明。感染と死亡との因果関係も分かっていない。厚生労働省の調査結果を待ちたい」としている。

MDRPはメチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)などと同様、抗生物質が効かない耐性菌の一種。緑膿菌は水回りや土中など身の回りにいる細菌だが、体力が弱まっている患者が感染すると肺炎などを起こして死亡に至ることもある。大阪大や京都大、長崎大でもMDRPに感染した患者

生物質が効かない耐性菌の一種。緑膿菌は水回りや土中など身の回りにいる細菌だが、体力が弱まっている患者が感染すると肺炎などを起こして死亡に至ることもある。大阪大や京都大、長崎大でもMDRPに感染した患者

同病院によると、二〇〇四―〇五年の二年間に二人が肺炎や敗血症などを発症し、六人が死亡したという。死亡した患者の入院時

期や病棟はバラバラとい、同病院は一院内感染かどうかは不明。感染と死亡との因果関係も分かっていない。厚生労働省の調査結果を待ちたい」としている。

MDRPはメチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)などと同様、抗生物質が効かない耐性菌の一種。緑膿菌は水回りや土中など身の回りにいる細菌だが、体力が弱まっている患者が感染すると肺炎などを起こして死亡に至ることもある。大阪大や京都大、長崎大でもMDRPに感染した患者

生物質が効かない耐性菌の一種。緑膿菌は水回りや土中など身の回りにいる細菌だが、体力が弱まっている患者が感染すると肺炎などを起こして死亡に至ることもある。大阪大や京都大、長崎大でもMDRPに感染した患者

生物質が効かない耐性菌の一種。緑膿菌は水回りや土中など身の回りにいる細菌だが、体力が弱まっている患者が感染すると肺炎などを起こして死亡に至ることもある。大阪大や京都大、長崎大でもMDRPに感染した患者

多剤耐性緑膿菌患者15人が感染
東京都老人医療センター(東京・板橋)で昨年七月、抗生物質が効かない多剤耐性緑膿菌

また、厚生労働省は二十三日、約二年間で患者約百人から同菌が検出され、六人が死亡した埼玉医科大学病院の病院長らから事情聴取。病院側は外部メンバーを入れた調査委員会を近く設置すると説明したという。

多剤耐性緑膿菌
東京の医療施設
感染で2人死亡
東京都福祉保健局は23日、都老人医療センター(板橋区)で昨年7月12日、入院患者15人が抗生物質が効きにくい多剤耐性緑膿菌に感染し、2人が死亡していたことを明らかにした。感染した人のうち5人は院内感染だった可能性があり、死亡者のうち1人はこの菌が原因で死亡した疑いが強いという。